

2023年3月期 第1四半期連結決算概要

2022年8月1日
住友化学株式会社
(単位: 億円)

1. 業績 (IFRS)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	2022年3月期
売上収益	6,390	7,741	1,352	27,653
コア営業利益	617	641	24	2,348
営業利益	583	663	79	2,150
親会社の所有者に帰属する 四半期(当期)利益	357	700	343	1,621
基本的1株当たり四半期(当期)利益	21.81円	42.81円	21.00円	99.16円
親会社所有者帰属持分 四半期(当期)利益率(ROE)	3.5%	5.5%	2.0%	14.5%
海外売上比率	68.7%	71.3%	2.6%	67.7%
平均為替レート(円/\$)	109.52	129.73	—	112.39
ナフサ価格(円/KL)	47,700	86,000	—	56,600

※ コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した経常的な収益力を表す損益概念であり、持分法による投資損益を含みます。

2. 部門別売上収益・コア営業利益 (IFRS)

(単位: 億円)

		2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	2022年3月期
エッセンシャル	売上収益	1,995	2,386	390	8,425
	コア営業利益	238	100	△138	535
ケミカルズ	売上収益	744	864	120	3,164
	コア営業利益	67	66	△1	201
エネルギー・ 機能材料	売上収益	1,093	1,147	54	4,737
	コア営業利益	135	158	23	578
情報電子 化学	売上収益	1,031	1,526	495	4,738
	コア営業利益	103	219	116	423
健康・農業 関連事業	売上収益	1,392	1,677	286	5,917
	コア営業利益	96	141	44	617
医薬品	売上収益	136	142	6	672
	コア営業利益	27	33	5	158
その他	売上収益	—	—	—	—
	コア営業利益	△50	△75	△25	△164
全社費用等	売上収益	6,390	7,741	1,352	27,653
	コア営業利益	617	641	24	2,348
合計	売上収益	6,390	7,741	1,352	27,653
	コア営業利益	617	641	24	2,348

3. 要約四半期連結損益計算書 (IFRS)

(単位：億円)

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増 減
売 上 収 益	6,390	7,741	1,352
コ ア 営 業 利 益	617	641	24
(うち持分法による投資損益)	(147)	(127)	(△21)
固 定 資 産 売 却 益	0	19	19
減 損 損 失	△16	-	16
事 業 構 造 改 善 費 用	△17	△21	△5
条 件 付 対 価 に 係 る 公 正 価 値 変 動	△1	△1	0
そ の 他	0	25	25
非 経 常 項 目 計	△33	22	55
営 業 利 益	583	663	79
為 替 差 損 益	△3	569	571
そ の 他 の 金 融 収 益 及 び 費 用	△14	△95	△81
税 引 前 四 半 期 利 益	567	1,137	570
法 人 所 得 税 費 用	△178	△285	△107
四 半 期 利 益	389	851	462
非支配持分に帰属する四半期利益	△32	△151	△119
親会社の所有者に帰属する四半期利益	357	700	343

4. 要約四半期連結財政状態計算書 (IFRS)

(単位：億円)

	2022年3月31日 現在	2022年6月30日 現在	増 減		2022年3月31日 現在	2022年6月30日 現在	増 減
(資 産)				(負 債)			
流 動 資 産	18,126	21,348	3,222	営 業 債 務 及 び そ の 他 の 債 務	5,516	6,758	1,242
現 金 及 び 現 金 同 等 物	3,654	4,986	1,332	有 利 子 負 債	13,505	14,174	670
営 業 債 権 及 び そ の 他 の 債 権	7,204	7,786	582	そ の 他	7,041	7,134	93
棚 卸 資 産	6,514	7,420	907	負 債 合 計	26,062	28,067	2,005
そ の 他	754	1,156	401	(資 本)			
非 流 動 資 産	24,955	25,351	396	株 主 資 本	10,828	11,347	519
有 形 固 定 資 産	8,230	8,439	209	そ の 他 の 資 本 の 構 成 要 素	1,353	2,086	733
の れ ん 及 び 無 形 資 産	7,156	7,797	641	非 支 配 持 分	4,839	5,200	361
そ の 他	9,569	9,115	△454	資 本 合 計	17,020	18,632	1,613
資 産 合 計	43,082	46,699	3,617	負 債 及 び 資 本 合 計	43,082	46,699	3,617

親会社所有者 帰属持分比率	28.3%	28.8%	0.5%
------------------	-------	-------	------

5. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書（IFRS）

（単位：億円）

	2022年3月期 第1四半期	2023年3月期 第1四半期	増減	2022年3月期
営業キャッシュ・フロー	47	426	379	1,717
投資キャッシュ・フロー	△413	460	873	△1,154
フリー・キャッシュ・フロー	△366	887	1,252	563
財務キャッシュ・フロー	415	115	△299	△814
その他の	7	330	323	296
現金及び現金同等物の増減	55	1,332	1,276	45



2023年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2022年8月1日

上場会社名 住友化学株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4005 URL <https://www.sumitomo-chem.co.jp/>
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）岩田 圭一
 問合せ先責任者（役職名）コーポレートコミュニケーション部長（氏名）小林 俊二（TEL）03-5201-0200
 四半期報告書提出予定日 2022年8月5日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（証券アナリスト、機関投資家向け）
 （百万円未満四捨五入）

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	774,134	21.2	64,111	4.0	66,282	13.6	85,108	118.9	69,992	96.3	192,386	390.4
2022年3月期第1四半期	638,979	27.7	61,664	210.5	58,344	215.9	38,884	—	35,659	—	39,232	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	42.81	—
2022年3月期第1四半期	21.81	—

（参考）持分法による投資損益 2023年3月期第1四半期 12,671百万円 2022年3月期第1四半期 14,742百万円
 税引前四半期利益 2023年3月期第1四半期 113,656百万円 2022年3月期第1四半期 56,693百万円

※コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した経常的な収益力を表す損益概念であり、持分法による投資損益を含みます。

（注）希薄化後1株当たり四半期利益については、潜在株式は存在するものの逆希薄化効果を有するため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	4,669,887	1,863,235	1,343,256	28.8
2022年3月期	4,308,151	1,701,977	1,218,101	28.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	10.00	—	14.00	24.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	12.00	—	12.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上収益		コア営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,570,000	18.5	105,000	△29.5	100,000	△30.7	85,000	△4.4	51.99
通期	3,120,000	12.8	200,000	△14.8	180,000	△16.3	125,000	△22.9	76.45

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 - 社(社名) 、除外 1 社(社名) スミトモ ケミカル ド ブラジル
Representações Ltda

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	1,655,446,177株	2022年3月期	1,655,446,177株
2023年3月期1Q	20,477,134株	2022年3月期	20,474,797株
2023年3月期1Q	1,634,969,789株	2022年3月期1Q	1,634,984,794株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、潜在的なリスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績等に重大な影響を与えうる主な要因としては、当社グループの事業領域を取り巻く経済情勢、製品市場における需要動向、競争激化による販売価格の下落、原料品の価格の上昇、為替相場の変動があります。但し、業績に変動を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上収益は、前年同四半期連結累計期間（以下「前年同四半期」という。）に比べ1,352億円増加し、7,741億円となりました。損益面では、コア営業利益は641億円、営業利益は663億円、親会社の所有者に帰属する四半期利益は700億円となり、それぞれ前年同四半期を上回りました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

なお、セグメント利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しており、持分法による投資損益を含みます。

(エッセンシャルケミカルズ)

合成樹脂やメタアクリル、各種工業薬品等は原料価格の上昇により販売価格が上昇しました。また、円安による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。一方で、自動車用途を中心に需要が落ち込んだため出荷が減少しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、390億円増加し2,386億円となりました。コア営業利益は、持分法適用会社であるラービグ リファイニング アンド ペトロケミカル カンパニーの業績が改善した一方で、原料価格の上昇に伴う交易条件の悪化や出荷減少の影響により、前年同四半期に比べ138億円減少し100億円となりました。

(エネルギー・機能材料)

アルミニウムや正極材料は市況の上昇に伴い、販売価格が上昇しました。また、リチウムイオン二次電池用セパレータは出荷が堅調に推移しました。さらに、円安による影響もありました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、120億円増加し864億円となりました。コア営業利益は、円安に伴う輸出手取りの増加等の一方、原料価格の上昇に伴う交易条件の悪化により、前年同四半期とほぼ横ばいの66億円となりました。

(情報電子化学)

売上収益は在外子会社において円安による邦貨換算差の影響がありました。また、半導体プロセス材料である高純度ケミカルやフォトレジストは需要の伸長に伴い出荷が増加しました。一方で、ディスプレイ関連材料は巣ごもり需要が一巡したことやインフレ懸念に伴う消費マインドの悪化等により出荷が減少しました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、54億円増加し1,147億円となりました。コア営業利益は、円安に伴う輸出手取りの増加や半導体プロセス材料における出荷の増加等により、前年同四半期に比べ23億円増加し158億円となりました。

(健康・農業関連事業)

農薬は南米において販売が大幅に増加し、インド等においても出荷が堅調に推移しました。また、メチオニン（飼料添加物）は前年同四半期に比べ市況が上昇しました。さらに、円安による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、495億円増加し1,526億円となりました。コア営業利益は、原料価格上昇の一方、販売の増加や円安に伴う輸出手取りの増加等により、前年同四半期に比べ116億円増加し219億円となりました。

(医薬品)

北米ではラツウダ（非定型抗精神病薬）やオルゴビクス（進行性前立腺がん治療剤）、ジェムテサ（過活動膀胱治療剤）等の売上伸長に加え、オルゴビクスの欧州における販売ライセンス契約による一時金の計上等により、増収となりました。また、円安による在外子会社の邦貨換算差の影響もありました。一方、国内においては、薬価改定等の影響がありました。この結果、売上収益は前年同四半期に比べ、286億円増加し1,677億円となりました。コア営業利益は、邦貨換算差の影響等により販売費及び一般管理費や研究費が増加しましたが、売上収益の増加により、前年同四半期に比べ44億円増加し141億円となりました。

(その他)

上記5部門以外に、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務、物性分析・環境分析業務等を行っております。これらの売上収益は前年同四半期に比べ、6億円増加し142億円となり、コア営業利益は、前年同四半期に比べ5億円増加し33億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は前連結会計年度末に比べ3,617億円増加し、4兆6,699億円となりました。現金及び現金同等物や棚卸資産が増加しました。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ2,005億円増加し、2兆8,067億円となりました。有利子負債は、前連結会計年度末に比べ670億円増加し、1兆4,174億円となりました。

資本合計（非支配持分を含む）は、親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上等により、前連結会計年度末に比べ1,613億円増加し、1兆8,632億円となりました。

親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比べて0.5ポイント増加し、28.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向等を踏まえ、2022年5月13日に公表した2023年3月期の第2四半期（累計）連結業績予想を下記の通り修正いたします。

2023年3月期第2四半期（累計）連結業績予想数値の修正（2022年4月1日～2022年9月30日）

	売上収益	コア営業利益 (注)	営業利益	親会社の 所有者に帰属する 四半期利益	基本的 1株当たり 四半期利益
前回発表予想（A）	百万円 1,550,000	百万円 90,000	百万円 85,000	百万円 60,000	円 銭 36.70
今回修正予想（B）	1,570,000	105,000	100,000	85,000	51.99
増減額（B－A）	20,000	15,000	15,000	25,000	
増減率（％）	1.3	16.7	17.6	41.7	
（ご参考） 前期第2四半期累計 (2022年3月期第2四半期)	1,325,210	148,897	144,272	88,884	54.36

(注) コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を控除した経常的な収益力を表す損益概念であり、持分法による投資損益を含みます。

2023年3月期第2四半期（累計）連結業績につきましては、健康・農業関連事業において南米での農薬販売が好調に推移しているとともに、エッセンシャルケミカルズ部門においても石油精製事業の交易条件が良好である見通しです。また、為替相場が前回発表予想よりも円安方向に推移すると想定していることから、輸出手取りの増加や在外子会社の邦貨換算による増益も見込まれます。一方で、情報電子化学においてディスプレイ関連材料の出荷は減少傾向となっております。この結果、コア営業利益、営業利益は、前回発表予想を上回る見通しです。

また、コア営業利益、営業利益の改善に加え、円安の進行により金融損益において多額の為替差益の計上を見込むことから、親会社の所有者に帰属する四半期利益についても、前回発表予想を上回る見通しです。

なお、通期の業績予想につきましては、為替相場や原料価格の動向に加え、世界経済の見通しが不透明であることから、前回発表予想を据え置いております。今後の情勢等により、修正が必要となった場合には、速やかに公表いたします。

上記の予想は現時点で入手可能な情報に基づいたものであり、実際の業績は今後さまざまな要因によって異なる結果となる可能性があります。また、本日公表の「2023年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」も併せてご覧ください。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	365,429	498,600
営業債権及びその他の債権	720,422	778,623
その他の金融資産	23,991	34,793
棚卸資産	651,358	742,030
その他の流動資産	51,442	80,762
流動資産合計	1,812,642	2,134,808
非流動資産		
有形固定資産	823,022	843,883
のれん	244,517	269,057
無形資産	471,109	510,678
持分法で会計処理されている 投資	289,968	318,316
その他の金融資産	474,899	397,253
退職給付に係る資産	89,538	90,522
繰延税金資産	49,121	49,567
その他の非流動資産	53,335	55,803
非流動資産合計	2,495,509	2,535,079
資産合計	4,308,151	4,669,887

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
社債及び借入金	261,280	325,803
営業債務及びその他の債務	551,583	675,828
その他の金融負債	84,137	77,228
未払法人所得税等	24,515	33,719
引当金	129,709	153,440
その他の流動負債	122,267	101,075
流動負債合計	1,173,491	1,367,093
非流動負債		
社債及び借入金	1,089,190	1,091,623
その他の金融負債	101,718	97,397
退職給付に係る負債	33,091	33,278
引当金	36,502	37,839
繰延税金負債	101,299	110,494
その他の非流動負債	70,883	68,928
非流動負債合計	1,432,683	1,439,559
負債合計	2,606,174	2,806,652
資本		
資本金	89,699	89,699
資本剰余金	27,089	27,275
利益剰余金	974,382	1,026,071
自己株式	△8,343	△8,344
その他の資本の構成要素	135,274	208,555
親会社の所有者に帰属する持分 合計	1,218,101	1,343,256
非支配持分	483,876	519,979
資本合計	1,701,977	1,863,235
負債及び資本合計	4,308,151	4,669,887

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上収益	638,979	774,134
売上原価	△428,875	△528,345
売上総利益	210,104	245,789
販売費及び一般管理費	△165,551	△195,980
その他の営業収益	2,127	8,181
その他の営業費用	△3,078	△4,379
持分法による投資利益	14,742	12,671
営業利益	58,344	66,282
金融収益	3,092	61,908
金融費用	△4,743	△14,534
税引前四半期利益	56,693	113,656
法人所得税費用	△17,809	△28,548
四半期利益	38,884	85,108
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	35,659	69,992
非支配持分	3,225	15,116
四半期利益	38,884	85,108
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	21.81	42.81
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

要約四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期利益	38,884	85,108
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて 公正価値で測定する資本性金融資産	△13,198	△7,173
確定給付制度の再測定	△58	△62
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	1,014	△811
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△12,242	△8,046
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△1,250	7,970
在外営業活動体の換算差額	8,063	92,422
持分法適用会社における その他の包括利益に対する持分	5,777	14,932
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	12,590	115,324
その他の包括利益合計	348	107,278
四半期包括利益	39,232	192,386
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	40,313	147,880
非支配持分	△1,081	44,506
四半期包括利益	39,232	192,386

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素 その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定
2021年4月1日	89,699	26,882	854,538	△8,334	90,590	—
四半期利益	—	—	35,659	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△8,531	205
四半期包括利益合計	—	—	35,659	—	△8,531	205
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	△14,715	—	—	—
非支配持分との取引	—	750	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	4,986	—	△4,781	△205
その他の増減額	—	—	5	—	△5	—
所有者との取引額等合計	—	750	△9,724	△2	△4,786	△205
2021年6月30日	89,699	27,632	880,473	△8,336	77,273	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計				
2021年4月1日	△2,866	△31,279	56,445	1,019,230	462,889	1,482,119
四半期利益	—	—	—	35,659	3,225	38,884
その他の包括利益	△1,234	14,214	4,654	4,654	△4,306	348
四半期包括利益合計	△1,234	14,214	4,654	40,313	△1,081	39,232
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
配当金	—	—	—	△14,715	△5,347	△20,062
非支配持分との取引	—	—	—	750	1,665	2,415
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△4,986	—	—	—
その他の増減額	—	—	△5	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	—	△4,991	△13,967	△3,682	△17,649
2021年6月30日	△4,100	△17,065	56,108	1,045,576	458,126	1,503,702

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	その他の資本の構成要素 その他の 包括利益を 通じて 公正価値で 測定する 金融資産	確定給付 制度の 再測定
2022年4月1日	89,699	27,089	974,382	△8,343	82,682	—
四半期利益	—	—	69,992	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△6,682	△33
四半期包括利益合計	—	—	69,992	—	△6,682	△33
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	—
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—
配当金	—	—	△22,890	—	—	—
非支配持分との取引	—	186	—	—	—	—
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	4,607	—	△4,640	33
その他の増減額	—	—	△20	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	186	△18,303	△1	△4,640	33
2022年6月30日	89,699	27,275	1,026,071	△8,344	71,360	—

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素			親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配 持分	資本 合計
キャッシュ ・フロー ・ヘッジ	在外営業 活動体の 換算差額	合計				
2022年4月1日	△8,735	61,327	135,274	1,218,101	483,876	1,701,977
四半期利益	—	—	—	69,992	15,116	85,108
その他の包括利益	7,946	76,657	77,888	77,888	29,390	107,278
四半期包括利益合計	7,946	76,657	77,888	147,880	44,506	192,386
自己株式の取得	—	—	—	△1	—	△1
自己株式の処分	—	—	—	0	—	0
配当金	—	—	—	△22,890	△9,781	△32,671
非支配持分との取引	—	—	—	186	1,378	1,564
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△4,607	—	—	—
その他の増減額	—	—	—	△20	—	△20
所有者との取引額等合計	—	—	△4,607	△22,725	△8,403	△31,128
2022年6月30日	△789	137,984	208,555	1,343,256	519,979	1,863,235

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	56,693	113,656
減価償却費及び償却費	37,569	43,713
減損損失	1,579	—
持分法による投資損益(△は益)	△14,742	△12,671
受取利息及び受取配当金	△2,912	△4,321
支払利息	4,163	5,733
事業構造改善費用	1,653	2,135
条件付対価に係る公正価値変動	88	78
固定資産売却損益(△は益)	△40	△1,896
営業債権の増減額(△は増加)	12,850	28,174
棚卸資産の増減額(△は増加)	△43,379	△57,141
営業債務の増減額(△は減少)	14,700	62,567
前受収益の増減額(△は減少)	10,626	△8,119
引当金の増減額(△は減少)	△2,645	9,446
その他	△36,298	△117,565
小計	39,905	63,789
利息及び配当金の受取額	5,671	8,845
利息の支払額	△4,478	△6,013
法人所得税の支払額	△35,741	△22,864
事業構造改善費用の支払額	△667	△1,126
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,690	42,631
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△22,188	△10,591
固定資産の取得による支出	△22,475	△37,490
固定資産の売却による収入	540	2,154
投資の取得による支出	△3,129	△3,007
投資の売却及び償還による収入	8,305	36,186
貸付金の回収による収入	518	59,900
その他	△2,845	△1,127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△41,274	46,025
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	32,338	46,613
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	74,000	40,000
長期借入れによる収入	33,122	716
長期借入金の返済による支出	△64,009	△38,873
社債の償還による支出	△10,000	—
リース負債の返済による支出	△3,881	△4,259
配当金の支払額	△14,715	△22,900
非支配持分への配当金の支払額	△5,275	△9,707
非支配持分からの子会社持分取得による支出	△363	—
その他	240	△67
財務活動によるキャッシュ・フロー	41,457	11,523
現金及び現金同等物に係る換算差額	666	32,992
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	5,539	133,171
現金及び現金同等物の期首残高	360,918	365,429
現金及び現金同等物の四半期末残高	366,457	498,600

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社の取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、取り扱う製品・サービス別に事業を区分し、生産・販売・研究を一体的に運営する事業部門制を採用しております。各事業部門は、取り扱う製品・サービスについて国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、主に事業部門を基礎とした製品・サービス別のセグメントから構成されており、「エッセンシャルケミカルズ」、「エネルギー・機能材料」、「情報電子化学」、「健康・農業関連事業」および「医薬品」の5つを報告セグメントとしております。

各報告セグメントに属する主要な製品・サービスの種類は、下表のとおりであります。

報告セグメント	主要な製品・サービス
エッセンシャルケミカルズ	合成樹脂、合成繊維原料、各種工業薬品、メタアクリル、合成樹脂加工製品等
エネルギー・機能材料	アルミナ製品、アルミニウム、化成品、添加剤、染料、合成ゴム、エンジニアリングプラスチック、電池部材等
情報電子化学	光学製品、半導体プロセス材料、化合物半導体材料、タッチセンサーパネル等
健康・農業関連事業	農薬、肥料、農業資材、家庭用・防疫用殺虫剤、熱帯感染症対策資材、飼料添加物、医薬品原薬・中間体等
医薬品	医療用医薬品、放射性診断薬等

(注) 2022年4月1日付で、石油化学部門はエッセンシャルケミカルズ部門に名称変更しております。

セグメント情報においては前第1四半期連結累計期間についてもエッセンシャルケミカルズと記載しております。

2 報告セグメントの情報

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「要約四半期連結財務諸表」において採用している会計処理の方法と概ね同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出したコア営業利益で表示しております。

セグメント間の内部売上収益は市場実勢価格に基づいております。

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	要約四半期 連結 財務諸表 計上額
	エッセンシャル ケミカルズ	エネルギー ・機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	199,532	74,385	109,266	103,066	139,161	625,410	13,569	—	638,979
セグメント間の 内部売上収益	1,232	2,985	110	2,374	2	6,703	14,309	△21,012	—
計	200,764	77,370	109,376	105,440	139,163	632,113	27,878	△21,012	638,979
セグメント利益 (コア営業利益)	23,822	6,710	13,480	10,283	9,648	63,943	2,747	△5,026	61,664

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△5,026百万円には、セグメント間取引消去△50百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△4,976百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等です。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						その他 (注1)	調整額 (注2)	要約四半期 連結 財務諸表 計上額
	エッセンシャル ケミカルズ	エネルギー ・機能材料	情報電子 化学	健康・農業 関連事業	医薬品	計			
売上収益									
外部顧客への 売上収益	238,562	86,427	114,650	152,556	167,728	759,923	14,211	—	774,134
セグメント間の 内部売上収益	1,465	4,838	116	945	6	7,370	17,457	△24,827	—
計	240,027	91,265	114,766	153,501	167,734	767,293	31,668	△24,827	774,134
セグメント利益 (コア営業利益)	9,987	6,624	15,770	21,905	14,076	68,362	3,275	△7,526	64,111

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電力・蒸気の供給、化学産業設備の設計・工事監督、運送・倉庫業務および物性分析・環境分析業務等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△7,526百万円には、セグメント間取引消去△1,063百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△6,463百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究費等です。

セグメント利益から税引前四半期利益への調整は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
セグメント利益	61,664	64,111
固定資産売却益	40	1,896
減損損失	△1,579	—
事業構造改善費用	△1,653	△2,135
条件付対価に係る公正価値変動	△88	△78
その他	△40	2,488
営業利益	58,344	66,282
金融収益	3,092	61,908
金融費用	△4,743	△14,534
税引前四半期利益	56,693	113,656